

地方創生関連交付金事業の実施結果

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

指標値 ≤ 実績値 ……「達成」
 指標値 > 実績値 ……「未達成」

○地方創生推進交付金

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標(KPI)	最終年度(年)の目標			29年度(年)の状況			今後の取組の方向性、理由等
				年度(年)	目標値	単位	目標値	実績値	達成・未達成	
1	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	41,850,573	プロ人材戦略拠点によるプロ人材のコーディネート(民間人材会社への人材情報の提供)件数(累計)	H33年度	1,700	件	300	308	達成	プロ人材戦略拠点を通じて金融機関、民間団体、民間ビジネス事業者と連携し、引き続き県内企業の求人ニーズの掘り起こしと首都圏等の求職者等とのマッチングに取り組みます。
			連携する民間人材会社による求人ニーズと求職者のマッチングの成約件数(累計)	H33年度	200	件	30	59	達成	
2	”世界が恋する、NAGANOWINE”ブランドアッププロジェクト	14,150,062	県内のワイナリー数	H31年度	38	件	34	36	達成	NAGANO WINEのブランド化を図るため、栽培・醸造・プロモーション・観光等の各段階での支援を事業を通じて強化し、農業者、ワイナリー、関連産業事業者との連携により、NAGANO WINEの取組方針である「信州ワインバレー構想」の推進に取り組みます。
			県内のワイン用ぶどう栽培面積	H31年度	240	ha	213	219	達成	
			国際ワインコンクールでの受賞数	H31年度	10	本	1	1	達成	
			観光消費額	H31年度	7,618	億円	7,180	実績値なし	—	
3	世界水準の山岳高原観光地域づくり	43,572,214	観光消費額	H31年度	7,618	億円	7,180	実績値なし	—	延宿泊者数について、日本人宿泊者数が伸び悩み、目標値に達しませんでした。また外国人延宿泊者数については、欧米からの宿泊者数が増加する一方、クルーズ船ツアーの増加や団体旅行の減少により、中国や台湾からの宿泊者数が減少するとともに、2ヶ月連続した雪不足によりオーストラリアからの宿泊者数も減少したことなどから、目標値には達しませんでした。今後は、観光の担い手としての経営体づくりに向けて、広域型DMOの形成・確立や観光人材の育成・確保に取り組むほか、世界から観光客を呼び込むため、国別戦略による効果的なプロモーションや外国人受入環境の整備に取り組みます。
			延宿泊者数	H31年度	2,075	万人	1,956	1,799	未達成	
			外国人延宿泊者数	H31年度	200	万人	146.4	129	未達成	

4	人生を楽しむ「信州・働き方改革」推進事業	30,707,100	短時間正社員制度導入企業割合	H30年度	24	%	18.0	12.1	未達成	短時間正社員制度の導入や男性の育児休業取得に向けた気運の醸成が進まず、目標値には達しませんでした。 また、大学生等のUターン就職率は、就職内定率の上昇に反比例して低下する傾向が見られ、昨今の空前の売り手市場の状況を反映して目標値には届かない結果となりました。 積極的な企業訪問により多様な働き方制度導入に向けた具体的な提案や、専門家派遣による導入支援を実施するとともに、男性の育児休暇取得等、仕事と生活の両立に向けた啓発を実施します。また、ポータルサイトにより、学生や保護者に対して県内就職支援に関する情報を効果的に発信するほか、Uターン就職促進協定校との一層の連携を図るなど、Uターン就職の促進に取り組みます。
			Uターン就職率	H30年度	43.6	%	42.2	39.5	未達成	
			男性の育児休業取得率	H30年度	10.9	%	8.7	5.4	未達成	
5	学びと働きを連携させた信州創生のための新たな人材育成推進事業	26,931,436	事業対象校(横展開4校)の県内就職率の合計	H30年度	350	ポイント	336	344	達成	地元企業の魅力を生徒に理解させ、高校卒業後の県内就職率や県外進学者の長野県へのUターン希望率を高めるため、地元企業等と連携した事業を実施します。
			事業対象校(縦展開2校)の進学する生徒の中で、長野県にUターンを希望する生徒の割合の増加率	H30年度	10	ポイント	6	4	未達成	
			事業対象校(横展開4校+縦展開2校)の中で、地元企業を理解したと考える生徒の割合	H30年度	90	%	78	49	未達成	
6	航空機産業集積化による地域イノベーションの創出	119,702,889	航空機産業に取り組む県内企業	H32年度	100	社	55	60	達成	航空機産業集積化を推進するため、引き続き航空機システム拠点の整備、参入企業を拡大するためのフォーラムを開催するほか、県内企業がメーカーからの課題に取り組む加工トライアルを実施するなど、県内企業の参入促進に取り組みます。
			大学・企業等誘致	H32年度	5	件	1	3	達成	
			航空機産業分野の売り上げ高	H32年度	4.0	%	0.4	12.8	達成	
7	中・高校生によるRESASを活用した地方創生のための探究型学習推進事業	4,771,731	県内出身学生のUターン就職率	H30年度	43.6	%	42.2	39.5	未達成	コンテストに応募する学校数を増やすため、授業支援員の派遣等を通じ、引き続き探究型学習の授業への支援を行い、授業内容の充実を図ります。
			事業実施校のすべてが「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に応募する	H30年度	38	校	13校	5校	未達成	

KPIの達成状況

区分	件数	構成比
達成	9	50.0
未達成	9	50.0
実績値なし	2	—
合計	20	100

※構成比は実績値が把握できる指標に占める割合です

地方創生関連交付金事業の実施結果

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

指標値 ≤ 実績値 ……「達成」
 指標値 > 実績値 ……「未達成」

○地方創生拠点整備交付金

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標(KPI)	29年度(年)の状況				今後の取組の方向性、理由等
				目標値	単位	実績値	達成・未達成	
1	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (農業試験場、果樹試験場)	156,538,980	農業の単位面積当たり生産性	259	万円/ha	268	達成	長野県農業の生産性向上を図るため、今回整備した施設の活用などを通じ、商品性が高く貯蔵性に優れたリンゴ品種や皮ごと食べられる等消費者ニーズに対応したブドウ品種等の開発に取り組みます。
			観光消費額	7,180	億円	実績値なし	—	
			新たに開発するぶどう・りんごのオリジナル品種の数(H32までに2系統)	0	系統	0	達成	
2	100年カラマツの利用技術開発事業	153,990,350	開発した、梁・桁製品利用の売上金額(H32に90,000千円/年)	0	千円	0	達成	木質バイオマス発電所の稼働が5年遅れとなったため、素材生産量が目標値に達しませんでした。H29年度に設けた新たな信州カラマツ大径材ブランド「信州プレミアムカラマツ」の県内外への普及展開を図るとともに製品開発を促進し、引き続きカラマツの利用拡大に取り組めます。
			大径カラマツ材等の梁・桁6タイプの新製品化数(H32に6種類)	0	種類	0	達成	
			施設整備を契機とした、大径材を含む素材生産量	600	千m ³	541	未達成	
3	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (農業試験場八重森ほ場)	8,229,600	農業の単位面積当たり生産性	259	万円/ha	268	達成	長野県農業の生産性向上を図るため、今回整備した気象・水利自動制御水田試験施設等の活用などを通じ、高温登熟性に優れた系統から良食味系統品種の選抜を進めます。
			観光消費額	7,180	億円	実績値なし	—	
			新しく開発する水稲の新品種(H32に1品種、2系統)	0	系統	0	達成	
4	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (野菜花き試験場)	25,245,000	農業の単位面積当たり生産性	259	万円/ha	268	達成	長野県農業の生産性向上を図るため、今回整備した施設の活用などにより、花きにおける気象変動の影響を受けにくい生育・品質制御技術を開発、盛夏期に収穫・出荷する作型に適したレタス品種の開発及び施設園芸における捕食性天敵による微小害虫の防除技術の開発に取り組めます。
			観光消費額	7,180	億円	実績値なし	—	
			レタスのオリジナル新品種・系統の開発(H32に2系統)	0	系統	0	達成	
5	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (畜産試験場)	82,940,732	農業の単位面積当たり生産性	259	万円/ha	268	達成	長野県農業の生産向上を図るため、従来より増体に優れ、出荷日齢を短縮できる良食味のオリジナル地鶏の作出に取り組めます。
			観光消費額	7,180	億円	実績値なし	—	
			新たな地鶏品種(H32に1品種、1系統)	0	系統	0	達成	

6	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (南信農業試験場)	7,128,000	農業の単位面積当たり生産性	259	万円/ha	268	達成	長野県農業の生産向上を図るため、果実貯蔵性検定施設等の活用を通じ、耐病性・貯蔵性に優れ、本県に適する優良日本なし品種の開発に取り組みます。
			観光消費額	7,180	億円	実績値なし	—	
			新たに開発する日本なしのオリジナル品種 (H32に1品種)	0	系統	0	達成	
7	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (水産試験場本場)	22,405,077	農業の単位面積当たり生産性	259	万円/ha	268	達成	長野県農業の生産性向上を図るため、今回整備した飼育施設等の活用を通じ、付加価値の高い新品種を開発に取り組む。
			観光消費額	7,180	億円	実績値なし	—	
			耐病性や高成長性を備えたマス類の開発 (H32に1品種)	0	系統	0	達成	
8	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (水産試験場押野試験池)	15,094,897	農業の単位面積当たり生産性	259	万円/ha	268	達成	長野県農業の生産性向上を図るため、今回整備した養殖魚生産施設等の活用を通じ、県オリジナル品種種苗供給の増産及び安定化に取り組みます。
			観光消費額	7,180	億円	実績値なし	—	
			種苗供給量の増加	36	万尾	36	達成	
9	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (水産試験場木曾試験地)	5,402,795	農業の単位面積当たり生産性	259	万円/ha	268	達成	長野県農業の生産性向上を図るため、今回整備した養殖魚生産施設等の活用を通じ、県オリジナル品種種苗供給の増産及び安定化に取り組みます。
			観光消費額	7,180	億円	実績値なし	—	
			種苗供給量の増加	4	万尾	6	達成	
10	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (林業総合センター)	4,827,600	松くい虫抵抗性マツタケ菌発生苗木の販売 (H32に3,600千円)	0	千円	0	達成	H29年度は、天候不順により、県内のマツタケ生産量は激減し、例年の10分の1に止まりました。マツタケの発生は、天候条件やアカマツ林の老齢状況に左右されるため、今回整備したマツタケ菌感染苗木の増設施設を活用し、早期に苗木の増設技術開発を推進し生産振興を図り、林内での安定的なマツタケ生産に取り組めます。
			観光消費額	7,180	億円	実績値なし	—	
			マツタケ生産量	45	トン	5	未達成	

KPIの達成状況

区分	件数	構成比
達成	19	90.5
未達成	2	9.5
実績値なし	9	—
合計	30	100

※構成比は実績値が把握できる指標に占める割合です